

さまざまなアプローチで、和食文化を未来へ。

いくつかの試みから見えてきた具体的な道筋

ユネスコ無形文化遺産への登録により、和食文化は人類共有の財産となりました。しかし、これはゴールではなく、和食文化を未来へとつなげていくためのスタートです。大切なことは、私たちが日々の生活に息づく和食文化に気づき、理解を深めること、そして自分のできる範囲からでも地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸使いなどの食べ方・作法を受け継ぎ、地域や子どもや孫の世代へと伝えていくことではないでしょうか。



本検討会では、和食文化を保護・継承するための試行と検証を重ね、そこから具体的な道筋を探ってみました。

多くの人に和食文化への気づきを得てもらうために、日々の食事の中で「和食文化」チェックシートを活用することもそのひとつです。食育活動などを行う際に、和食文化のエッセンスを取り入れるために活用していただくのも一案です。

また次世代に和食文化をつなぐ場である「家庭」での取り組みも重要です。今回はワークショップを通じて、和食文化の型の意味を知る、旬などの食材に直接触れる、買物や料理、食卓など様々な場面で積極的に話をすることなどが和食文化を継承するヒントになることがわかってきました。こう

した取り組みによって「家の食の記憶」が深く、濃いものになることが期待できます。子育て世代が参加者や講師たちと課題を共有しながら、和食文化への深い気づきを得て、実生活へつなげていく。そのような機会や場を地域で作っていくことも、ますます重要になるのではないのでしょうか。

食への関心が薄いと言われがちな若い世代にも積極的に和食文化の魅力を感じてもらえるような仕組みが必要です。今後、様々な団体や企業、地方公共団体などとともに、若者に身近なツールなどを活用して情報発信することで、和食文化への興味を掘り起こし、実践にまで結び付けることも可能となるのではないのでしょうか。

和食文化を未来につなぐバトンは私たちの手の中にあります。飽食の時

代の今こそ、一人ひとりが和食文化を自然と身に付けることが、健康長寿にもつながるのではないのでしょうか。これを支援するために、国、地域、教育現場、食品産業、外食産業、流通産業、観光産業、マスコミなどが手を携えて、国民全体で和食文化を保護・継承していくことが一層重要になっていくでしょう。

和食文化を守る、つなぐ、ひろめる。この活動をより確かなものとするために、このパンフレットが少しでもそのお役に立つことを願ってやみません。

検討会からの提案

今後、和食文化の保護・継承活動を本格的に推進していくために、有効と思われる手法が検討されました。こうした手法を、食育活動等の様々な食の現場において試行していただき、利用者に応じたツールの開発、改良を重ね、地域における活動の一助にさせていただきたく提案いたします。

① 和食文化の理解を深める取組

食育活動等において「和食文化」チェックシートを試行的に活用して事例を積み重ね、利用者に応じた改良を施した上で、和食という料理だけではなく、背景にある和食文化についての理解を深めるツールとして広く普及していくこと。

② 子育て世代による継承を推進する取組

子育て世代向けの食育活動等において、「参加型ワークショップ」による継承活動を試行的に実施し、効果的なプログラム等をマニュアル化した上で、子育て世代が主体的に参加できる活動として広く実施を求めていくこと。

③ 若年層への新たなアプローチ

地域の継承活動や企業の取り組みにおいて、若年層に身近なツール等を入り口とすることにより、まずは多くの人に和食文化への興味を持ってもらうよう取り組んでいくこと。

④ 地域での活動紹介

全国各地の和食文化の保護・継承活動の優れた事例を集めて紹介することで、活動全体がレベルアップし活性化するとともに、新たなパートナーと連携していくこと。

「和食」の保護・継承推進検討会

●開催期間

平成27年9月～平成28年2月

●委員

- 熊倉 功夫(座長)
(静岡文化芸術大学学長、
一般社団法人和食文化国民会議会長)
- 山口 範雄
(味の素株式会社特別顧問)
- 大久保 洋子
(一般社団法人日本家政学会 食文化研究部会長)
- 大山 昌弘
(株式会社ローソン
専務執行役員商品本部管理兼商品G10)
- 小山 薫堂
(放送作家、脚本家)
- 高木 慎一朗
(日本料理錢屋主人)
- 高橋 健彦
(鶴岡市企画部次長兼政策企画課長)
- 堀口 育代
(クックパッド株式会社執行役)
- 村上 憲一
(前株式会社NHKエデュケーション
代表取締役社長)
- 山脇(りん)
(料理家)

一般社団法人和食文化国民会議のご紹介
和食文化を次世代へ伝える国民運動を展開するため、日本の食を支える食品メーカーなどの企業、料理人、研究者、地域の食文化に関する団体、調理学校、個人、地方自治体など、誰もが参加できる団体です。一緒に活動していく会員を募集しています。
和食会議 | 検索
<http://washokujapan.jp/>

●写真協力 福井県小浜市